



学校だより

福島県立郡山支援学校
令和3年9月30日
令和3年度 第2号

学校経営・運営ビジョンに基づく、本校の取り組み状況をお知らせします。

学校教育目標

『一人一人のよさや可能性を広げ、「生活に生きる力」を育み、自立し社会参加できる児童生徒の育成を目指す。』

目指す子供の姿

主体的に生きる児童生徒

心豊かに生きる児童生徒

健やかに生きる児童生徒

主体的に生きる児童生徒

● 学びの連続性を意識した授業づくり

小学部 体育



「ころがしドッチボール」

ボールを使った基本的な動きを習得し、児童同士で楽しみ方を工夫しながら、チーム対抗ゲームを行いました。

中学部 体育



「卓球バレー」

ネット型の球技です。手作りのラケットを使い、ルールや形式を修正して、課題をもって取り組みました。

高等部 体育



「バスケットボール」

仲間と連携し勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことを目指し、生徒自らルール設定、作戦会議を行いました。

● 自立活動の視点を大切にした授業づくり

小学部

色のコントラストがはっきりした、凹凸のある学習カードを使用しています。よく見たり自分で指でなぞって文字の形を捉えたりして学習に取り組んでいます。



中学部

植物の世話をしながら、手で水に触れたり、水やりをするとじょうろが軽くなるを感じ取ったりして、様々な感覚を味わいながら学習に取り組んでいます。



高等部

視覚と聴覚、視覚と手の動きを関連させて色や形、量の違いを捉えられることができるようタブレット端末等を使用し、学習に取り組んでいます。



心豊かに生きる児童生徒

● 挨拶、モラルを中心としたマナーアップ指導

「あいさつ週間」では学部ごとに工夫を凝らし、校内放送での呼び掛け、横断幕の掲示、廊下でのあいさつ運動、風紀委員会の生徒による各学級への教室訪問などを行い、児童・生徒同士の交流を深めながら、あいさつの大切さを伝えることができました。

「情報モラル教室」では SNS やオンラインゲーム利用によって起こりえるトラブルの内容や、その対処方法について具体的にお話をいただきました。



● 体験的な活動を取り入れた道徳の指導

小学部

寄宿舎の先生からクワガタムシを頂き、学級で飼育することにしました。日々の世話や観察をすることで、命あるものを大切にすることを深めると共に、感謝の手紙やクワガタムシのイラストを作り手渡すことで、感謝する気持ちや態度を育てています。



中学部

生徒全員がタブレット端末のホワイトボードアプリを共有し、それぞれが考えた内容を付せんを書いて、互いの意見を見ながら話し合い活動を行いました。友達の意見にも耳を傾けながら、自分の考えを発表することができました。



高等部

友達と役割を分担して、週1回、2階のトイレと玄関に置いてある消毒液の補充を行い、集団生活の役割と責任、奉仕の精神や態度を育てています。みんなからの感謝の言葉が喜びとなり、自己有用感を高める機会となっています。



健やかに生きる児童生徒

● 生活習慣を見直し心と体を大切にした保健指導

▶ 健康教育・保健室より

衛生週間では、清潔検査や手洗い指導を行いました。養護教諭による手洗いチェッカーを活用しての指導では、生徒たちは手洗いの大切さに気付き、感染症予防への意識が高まる様子が見られました。



手洗いチェッカーで確認してみよう

洗い残しが多いのは？

▶ 保健の授業より

生活に必要な習慣や態度を身に付け、新型コロナウイルスの予防を意識させるため、手洗いチェッカーローションを利用して手洗いの指導を行いました。ブラックライトをあてて、普段の手洗いの方法では洗い残しがあることを理解した後、正しい手洗いの動画を視聴し、それを意識しながら再度手を洗って確認しました。正しい手洗いは「時間がかかって難しい。」という感想がありました。



▶ 寄宿舎の保健指導

手洗いに関する掲示物の設置やオートディスペンサーを活用した丁寧な手洗い、手指消毒の仕方について生活の中で指導しています。食事前などに生徒同士で「手を洗おう」と言葉をかけ合って新型コロナウイルス感染症予防をみんなで行っています。

